



# コンテキストの政治

第3部 コンテキスト／スケール／言説の政治  
地理学概論 I 第8週



# お願い

- WebClass教材一覧にある「中間評価アンケート」の記入をお願いします。来週の授業日（7/9）まで入力可能です。



# 課題

教科書第8章を読んで、以下の問いに答えて下さい。

- ① 選挙に関するコンテクスト（個人を取り巻く社会的・地理的環境）の効果とは個人の属性による効果とどういふ点で異なっているか説明して下さい。
- ② 選挙や大学進学に際して、意思決定する際に参考にした情報ソースは何でしたか。特に影響の大きかったソースは何でしたか。また、それはなぜですか。
- ③ 上の経験から、あなたは選挙や進学をめぐって、どの程度「コンテクスト」に影響されて意思決定しているか考えて、コンテクストの重要性や意義を評価して下さい。



# 課題

教科書第8章を読んで、以下の問いに答えて下さい。

- ① 選挙に関するコンテキスト（個人を取り巻く社会的・地理的環境）の効果とは個人の属性による効果とどういう点で異なっているか説明して下さい。
- ② 選挙や大学進学に際して、意思決定する際に参考にした情報ソースは何でしたか。特に影響の大きかったソースは何でしたか。また、それはなぜですか。
- ③ 上の経験から、あなたは選挙や進学をめぐって、どの程度「コンテキスト」に影響されて意思決定しているか考えて、コンテキストの重要性や意義を評価して下さい。



# コンテキストの政治

- 人間はどのような影響から政治的意思決定を行うのか？
- 完全に個人的な判断なのか、他人や環境にに影響されているのか、そうだとしたらどのように？
- 人間が置かれる空間的・地理的な「コンテキスト（文脈）」というものに注目してみる



# コンテキストという概念 (1)

- 選挙地理学における**近隣効果**
  - 有権者がその**地域**で優勢な政党や政治家を支持するように**転向する**政治行動として**確認される**
    - 比較的裕福な階層出身の新任教員が低所得層の多い地域に赴任し、子供たちの実情を憂慮し、政党支持を変えるようなケース
  - 近隣地域 = 個人としての有権者の**政治的指向性に影響を与える地理的環境**を構成



## コンテキストという概念 (2)

- なぜ近隣効果があるのか
  - 地方での社会的相互作用（対人関係）や情報流動（地域メディア）（コックス 1969）
  - 政党の活動→新居住者を地方固有の政治文化に受け込ませるべく、活発に働きかける（ジョンストン 1986ほか）
  - 政党・地方政府は地方の政治文化・政治風土 = 地方固有のイデオロギー、シンボル、アイデンティティを形成（ジョンストン 1986）



# コンテキストという概念 (3)

- 近隣効果があるとはどういうことか
  - 政治的意思決定が大きく二つの要素から構成されている
  - 一つは個人の社会経済的属性（コンポジション＝年齢、性別、職業、所得、学歴など）
    - 所得が高いと保守的、学歴が高いとリベラル
  - もう一つがコンテキスト＝自分が生活する地理的な文脈（身近な交友関係、近隣、職場）から政治的知識を獲得する
    - 労働者地区では労働者でなくとも左翼政党支持

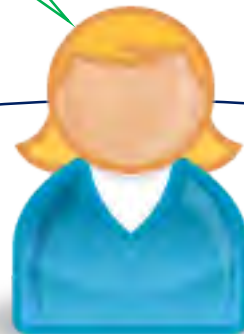




## 個人属性

年齢、性別、  
職業、所得、  
学歴

近隣、コンテキスト



身近な交友関係、近隣、職場



# 課題

教科書第8章を読んで、以下の問いに答えて下さい。

- ① 選挙に関するコンテクスト（個人を取り巻く社会的・地理的環境）の効果とは個人の属性による効果とどういう点で異なっているか説明して下さい。
- ② 選挙や大学進学に際して、意思決定する際に参考にした情報ソースは何でしたか。特に影響の大きかったソースは何でしたか。また、それはなぜですか。
- ③ 上の経験から、あなたは選挙や進学をめぐって、どの程度「コンテクスト」に影響されて意思決定しているか考えて、コンテクストの重要性や意義を評価して下さい。



# 転向のメカニズムー地域球団とファン

- 私が阪神ファンになった理由
  - 巨人、大鵬、卵焼き（1961年）
  - 巨人9連覇（1965～73年）、ON（王・長嶋）全盛時代
  - 関西UHF局で阪神戦完全中継開始
  - 吉田義男（京都二商＝北野中、山城高出身）阪神監督就任（1975年）、再就任と日本一獲得（1985年）
- ローカルなメディア・交友関係
  - 家庭・学校環境→進学
  - 新聞・教科書→政治意識（八重山）



[https://www.nikkei.com/article/DGXLASJB06H3S\\_W5A200C1AA1P00/](https://www.nikkei.com/article/DGXLASJB06H3S_W5A200C1AA1P00/)



# 課題

教科書第8章を読んで、以下の問いに答えて下さい。

- ① 選挙に関するコンテキスト（個人を取り巻く社会的・地理的環境）の効果とは個人の属性による効果とどういう点で異なっているか説明して下さい。
- ② 選挙や大学進学に際して、意思決定する際に参考にした情報ソースは何でしたか。特に影響の大きかったソースは何でしたか。また、それはなぜですか。
- ③ 上の経験から、あなたは選挙や進学をめぐって、どの程度「コンテキスト」に影響されて意思決定しているか考えて、コンテキストの重要性や意義を評価して下さい。



# コンテキストを考える意義

- 人間の行為を日常生活の地理的文脈から考える
- アンソニー・ギデンズの構造化理論をはじめとする社会理論の影響
- 人間の活動 = 身近な時空間的文脈の中で生起する社会事象（起きて、働いて、遊んで、食べて、寝て） → 地理学的視点の有効性



# コンテキストをめぐる論争（1）

- *Political Geography*誌の誌上論争（1987、1996年）
- 政治地理学者 = コンテキスト効果の意義
- 政治（社会）学者 = 否定的
  - 計量分析で適切に変数操作すれば効果はほとんど現れない
  - 地域的なパターンは地域的な生産様式の反映で、個人はその中で合理的判断から投票している
  - 5%ほどの地域性より一般性を理解するほうがもっと重要



# コンテキストをめぐる論争 (2)

- 反論の問題点
  - コンテキスト効果の意義は変数処理の問題に矮小化されてよいか
  - 政治の行動は経済的な地域差や個人の経済的効用（損得）計算に置き換えられてよいか
  - 政治行動はあくまで個人の属性に左右されるものとしてとらえてよいか
  - どう思いますか？



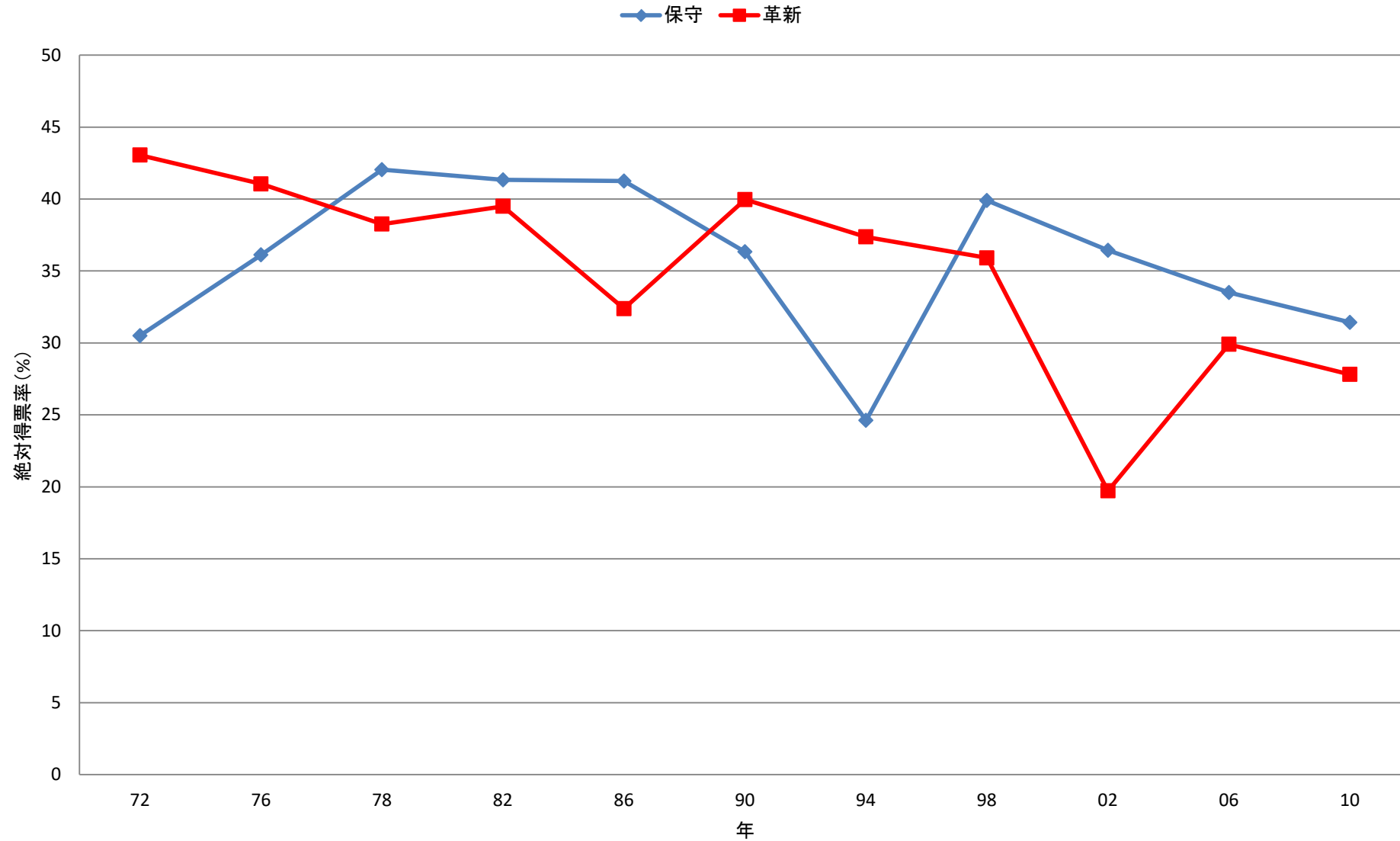
# 沖縄県における投票行動の地域性

- 基地の存在
- その社会経済的インパクト
  - 基地被害の程度
  - 住民の基地経済への依存度
- 保守・革新の対立（**クリーヴィッジ**）
  - 基地反対の意思は革新系候補への投票に現出
  - 明確な地域差

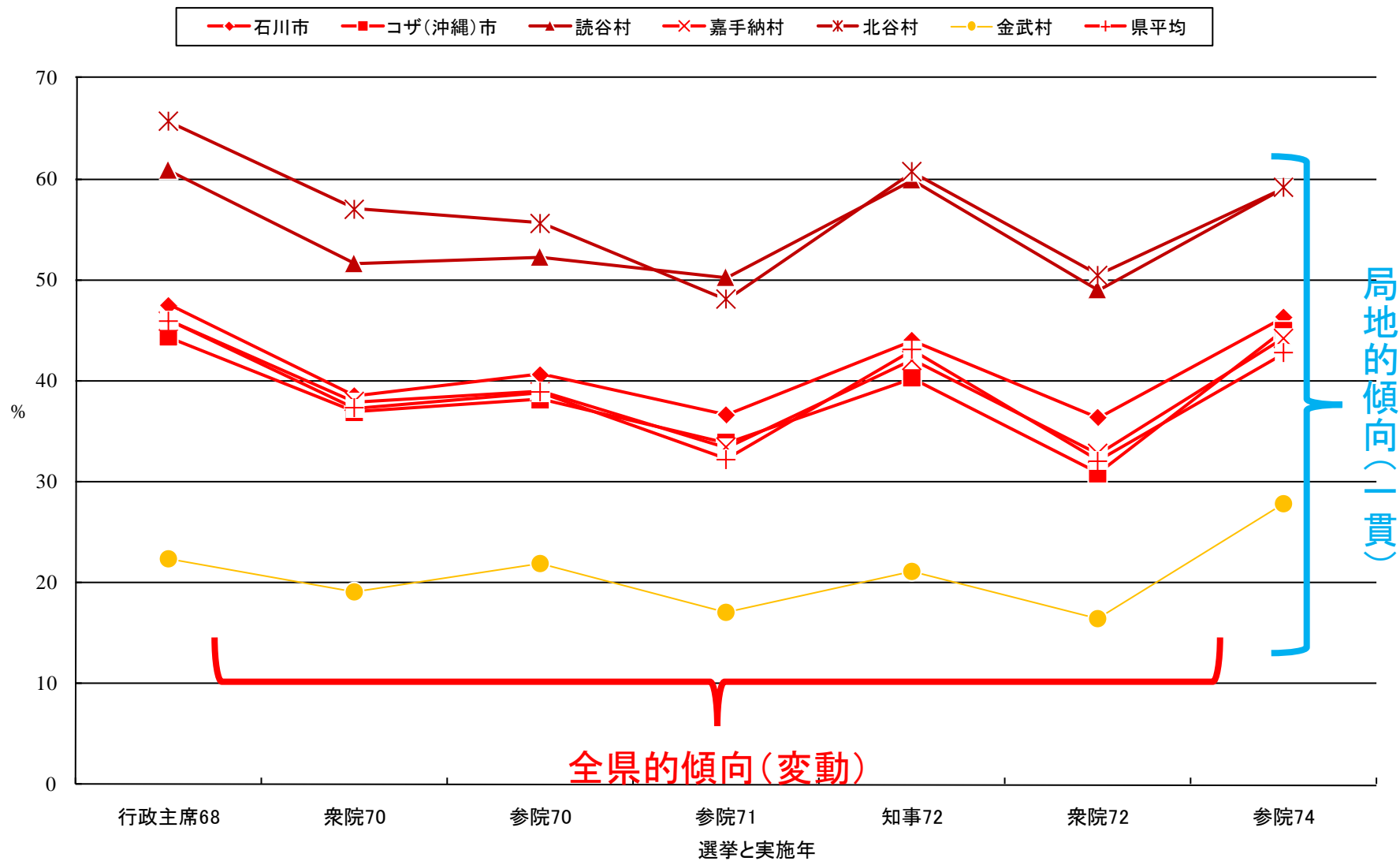




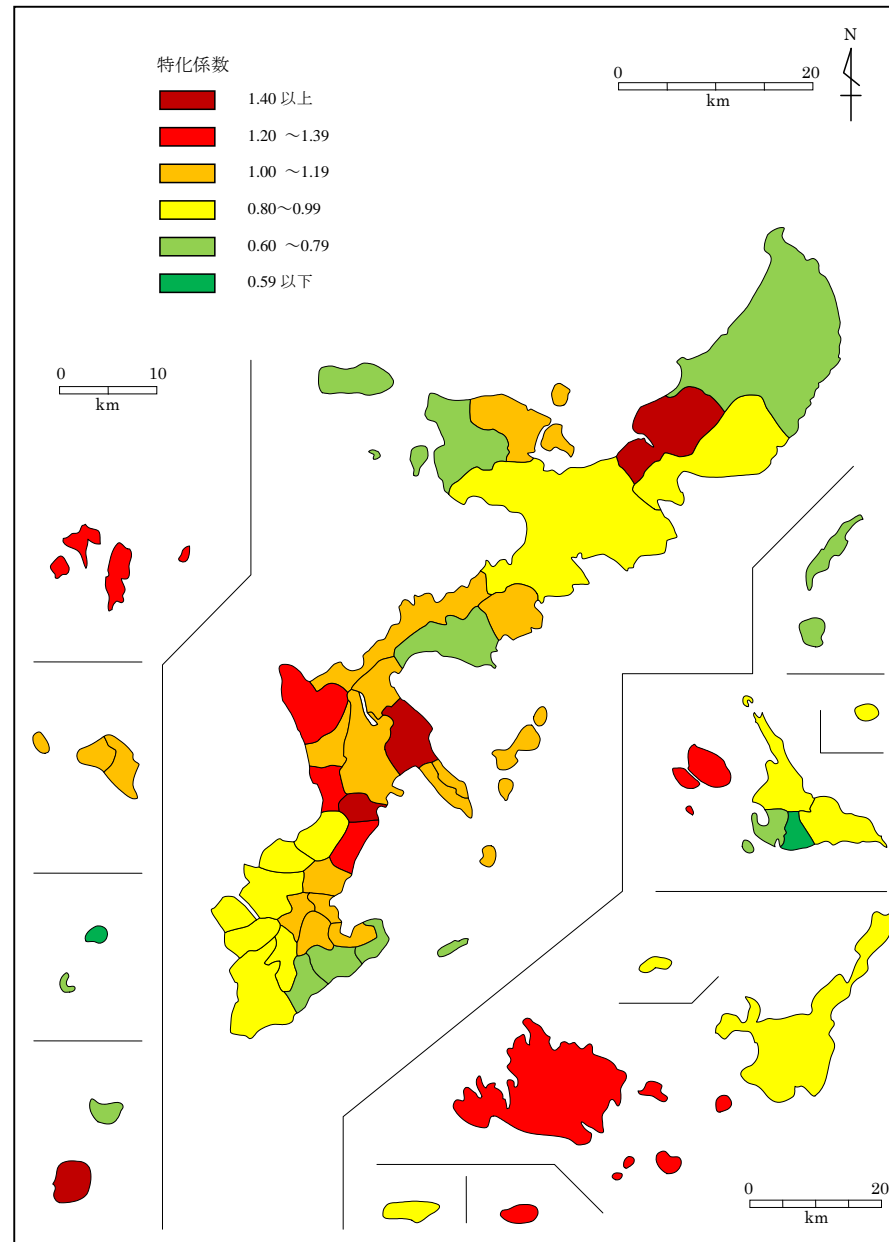
# 沖縄県知事選の絶対得票率(1972-2010)



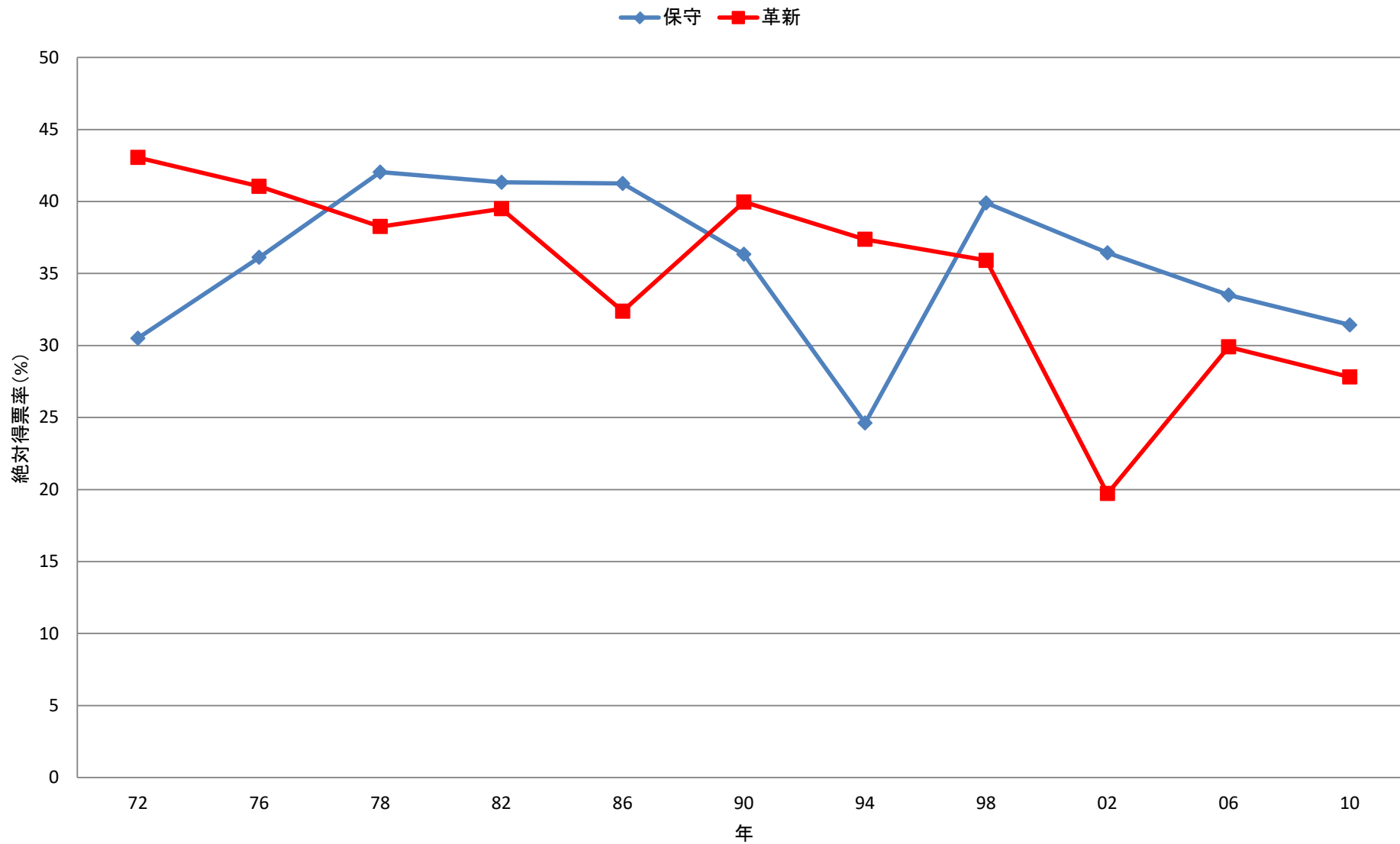
# 沖縄県基地所在市町村における革新絶対得票率(1968-1974)



# 1995年の参議院選挙における革新票の特化係数

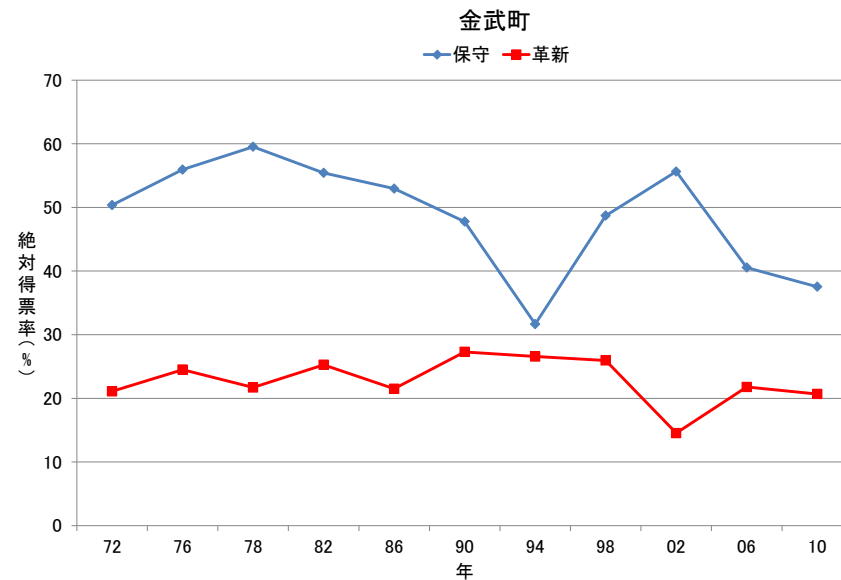
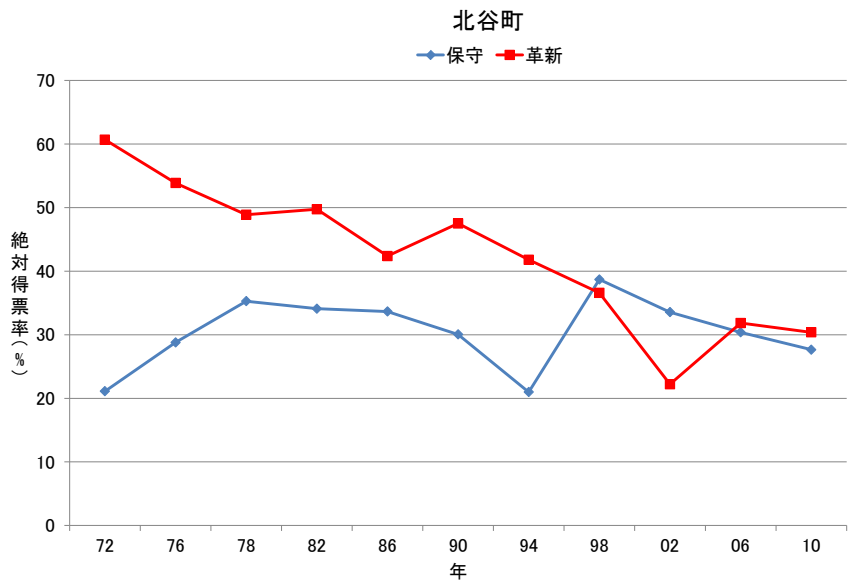
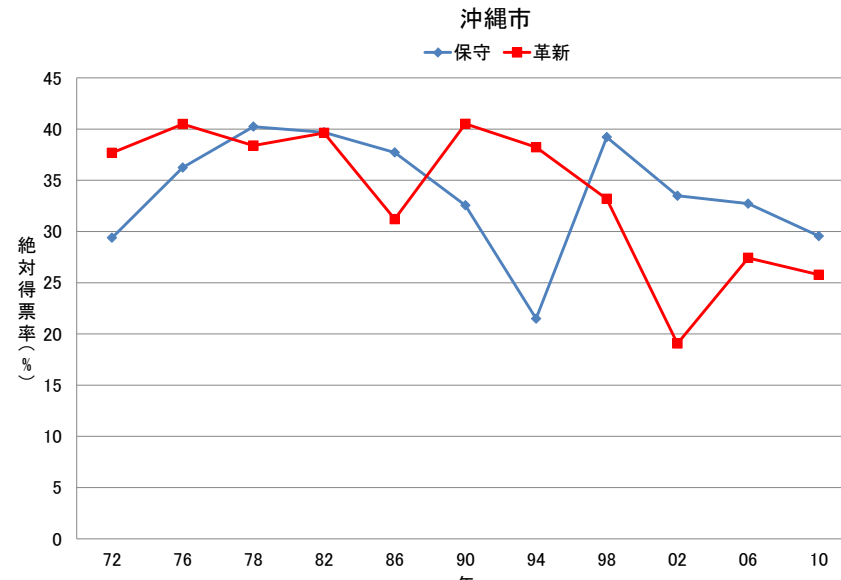
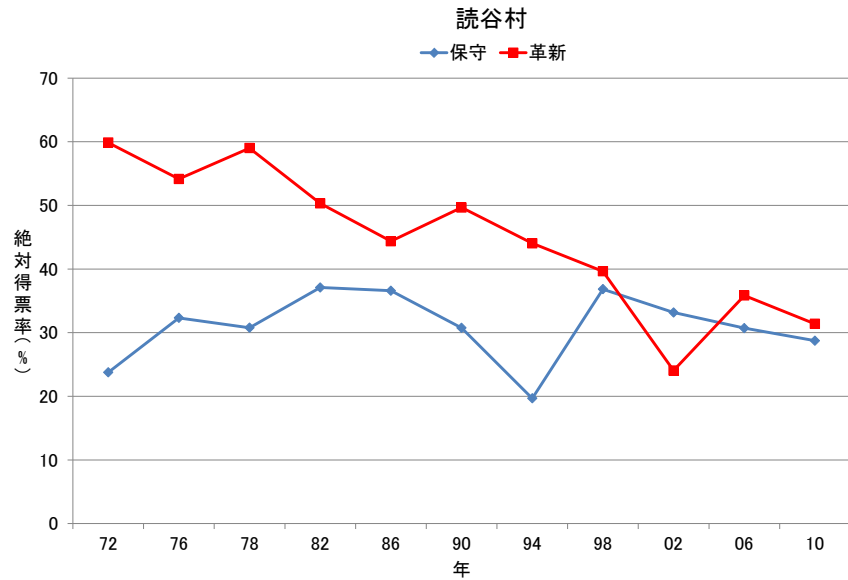


# 沖縄県知事選の絶対得票率(1972-2010)





# 基地所在市町村における知事選挙結果（1972-2010）



# 革新票を伸長させるコンテクスト

- 読谷村の場合
  - 沖縄戦での米軍上陸地点（北谷町も）
  - 集団死（集団自決）の戦跡保存、生存者の存在
  - 反基地運動活発
  - 革新系村長の平和行政
  - 代替産業の可能性（基地跡地利用、地場産業振興）



チビチリガマ入口と記念碑



# ヘリ基地移設反対運動（1996年）







読谷村庁舎  
(1997年未使用の基地内に建設)

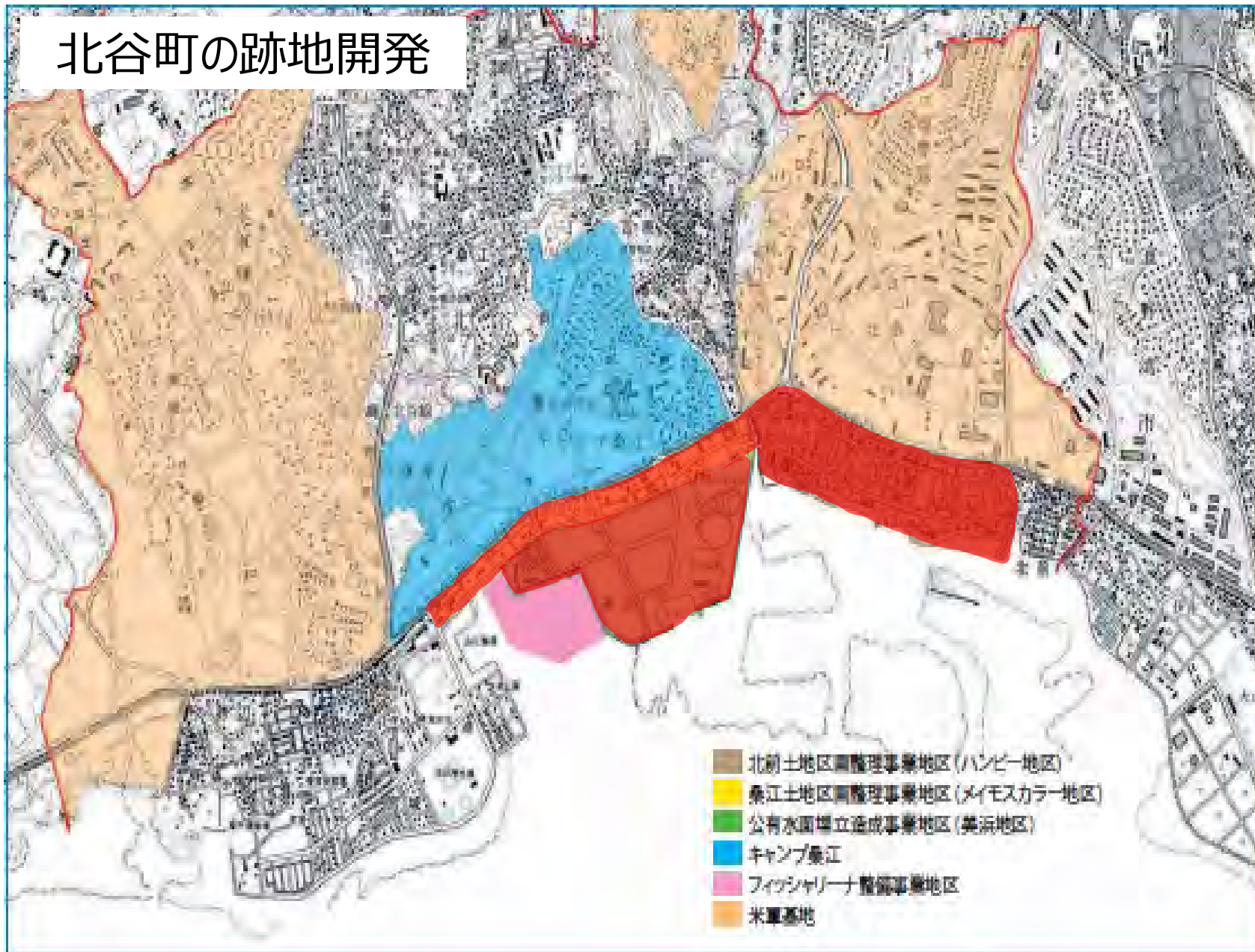




不戦宣言の碑（沖縄戦、米軍基地占拠を記す）



# 北谷町の跡地開発



# 美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ



# 保守票を伸長させるコンテクスト

- 基地経済への依存（復帰以前から）
  - 軍雇用
  - 軍用地料
    - 復帰後は日本政府（国税）負担
  - 対基地自営業
- 復帰後の財政依存
  - 基地の存続 = 返還の停滞
  - 地域経済の衰退（代替経済の不在）
  - 基地関連交付金・国庫補助金（インフラ整備、経済振興策→建設業など）への依存





嘉手納空軍基地

八重島 (ニューコザ)

センター通り

ゲート通り

吉原

照屋 (オールドコザ)

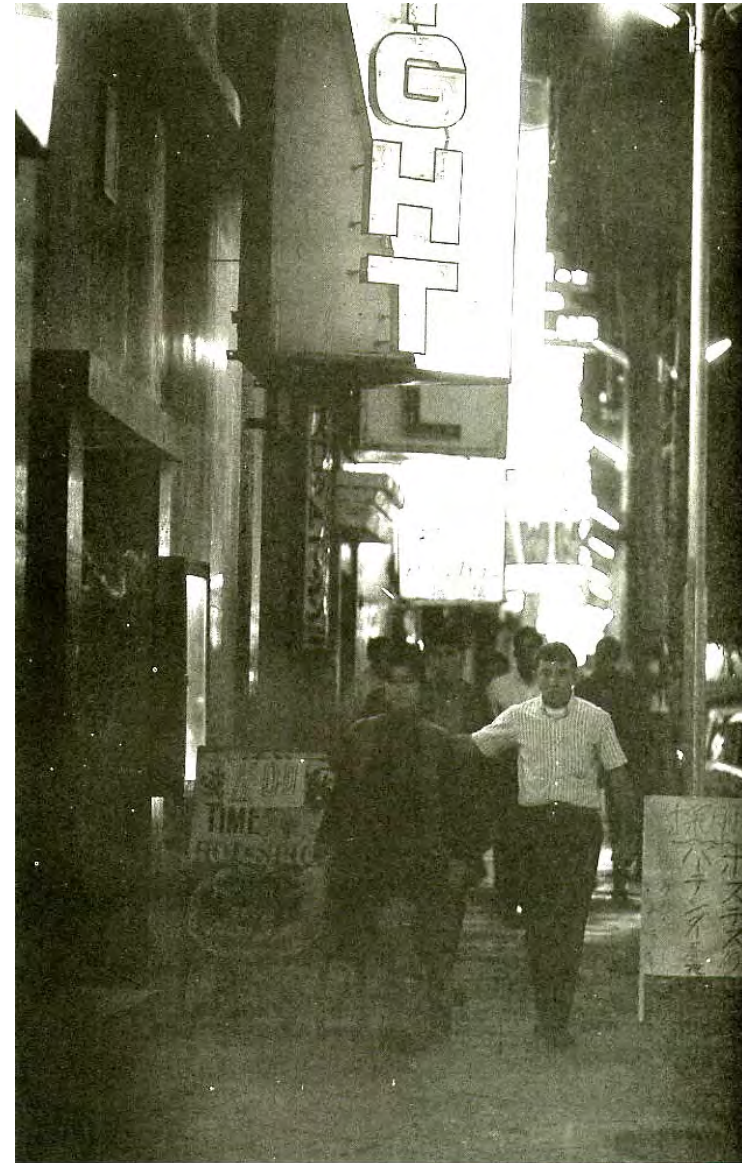
諸見

旧コザ市の  
特飲街



# ゲート通り（1950年代初期）





センター通り (1969年)





# 嘉手納飛行場第二ゲート（沖縄市）



# ゲート通り (米軍向け商店街)





ゲート通りの米軍向け店舗



シャッター通りと化した中央パークアベニュー（もとセンター通り） = 中心市街地の衰退





金武町キャンプハンセン前の新開地（米軍向け飲食店）



# 基地所在市町村の経済・政治的特性 (テキスト p. 118 表8-1)

	米軍基地面積率(11)	基地関係収入率(10)	人口(05)	人口増減(05-10)	民有地宅地率(11)	第三次産業就業者率(10)	経済成長率の年平均(04-09)	復帰後の革新系首長数(72-07)
市町村名	%	%	人	%	%	%		首長数/任期数
北谷町	52.9	12.2	27,264	1.5	25.3	75.6	4.0	11/11
読谷村	35.8	12.0	38,200	2.3	18.9	70.2	2.0	11/11
沖縄市	34.5	6.8	130,249	3.0	38.2	72.2	1.6	6/11
金武町	59.3	29.0	11,066	4.0	10.2	69.2	1.2	0/11
基地所在市町村平均	18.1	3.8						
県平均	10.2			2.2	13.0	72.3	1.0	

米軍基地に占拠されている市町村について、基地への財政依存、経済成長率と投票行動との関係に注目！



# 再び「場所の政治」へ

- 政治行動に多様な空間的パターン
- 選挙や政党支持にコンテキスト効果があるとするれば、
- 特性の政党の支持と有権者の社会経済的属性は国土（あるいは沖縄県）全般にわたって一貫した関係を持っているのではなく、
- 地域的に多様で、地域的に分化した場所や風土の存在を考慮する必要がある。
  - 但し、沖縄島内のクレーヴィッジの地域差はなくなりつつある一方で、沖縄島と離島部（宮古・八重山諸島ほか）との差異が発現している。

